

福岡工業大学学則

第1章 総 則

第1節 目 的

(目的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、建学の綱領及び教育理念に基づき、工業及び環境に関する専門の学術を研究、教授し、もって科学の進歩向上に寄与することを目的とする。

(自己評価等)

第1条の2 教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 実施方法については、別に定める。

第2節 組 織

(学部、学科及び学生定員)

第2条 本学に、次の学部を置く。

- (1) 工学部
- (2) 情報工学部
- (3) 社会環境学部

2 工学部に置く学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	収容定員
電子情報工学科	90人	360人
生命環境化学科	90人	360人
知能機械工学科	110人	440人
電気工学科	90人	360人
計	380人	1,520人

3 情報工学部に置く学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	収容定員
情報工学科	130人	520人
情報通信工学科	90人	360人
情報システム工学科	90人	360人
情報マネジメント学科	90人	360人
計	400人	1,600人

4 社会環境学部に置く学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
社会環境学科	160人	30人	700人

(教育研究上の目的)

第2条の2 前条に定める各学部及び各学科並びに第39条に定める教職課程の教育研究上の目的は、別表1のとおりとする。

(大学院)

第2条の3 本学に、大学院を置く。

2 大学院に関し必要な事項は、別に定める。

(教養力育成センター)

第2条の4 本学に、教養力育成センターを置く。

2 教養力育成センターに関し必要な事項は、別に定める。

(留学生別科)

第2条の5 本学に、留学生別科を置く。

2 留学生別科に関する規程は、別に定める。

(附属図書館)

第3条 本学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規程は、別に定める。

(学内共同教育研究施設)

第4条 本学に、次の学内共同教育研究施設を置く。

名 称		目 的
総 合 研 究 機 構	エレクトロニクス研究所	エレクトロニクス並びに関連する分野の研究を行うと共に、学内における研究の奨励・援助を図り、併せて地域の産業の発展に協力する。
	情報科学研究所	情報科学並びに関連する分野の研究を行うと共に、本学の情報関連分野の研究の奨励・援助を図り、併せて地域産業の発展に協力する。
	環境科学研究所	環境並びに関連する分野の研究を行うと共に、学内における研究の奨励・援助を図り、併せて環境管理の側面より地域産業の発展に協力する。
工作センター		工作機械装置等を管理運用し、研究及び教育の用に供すると共に、加工・工作技術の向上開発を図り、併せて科学技術の発展に資する。
学習支援センター		本学学生の自律的な学びを実現するため、正課内外と連動した学修支援を図り、併せて学修コミュニティの形成に資する。

(教育開発推進機構)

第4条の2 本学に、教育開発推進機構を置く。

2 教育開発推進機構に関し必要な事項は、別に定める。

(経営管理部・総務人事部・入試広報部・教務部・学生部・就職部)

第5条 本学に、経営管理部、総務人事部、入試広報部、教務部、学生部及び就職部を置く。

第3節 職員の種類

(職員の種類)

第6条 本学に、学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、事務職員を置く。

2 教育研究の円滑な実施に必要な業務を行うために、助手を置くことができる。

第4節 教授会

(構成)

第7条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、専任の教授、准教授、講師及び助教で構成する。

(審議事項及び運営)

第8条 教授会は学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学長が教授会の意見を聴くことが必要であると認めるもの

2 教授会は前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長(以下この項において「学長等」という。)がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

3 教授会の運営に関し、必要な事項は福岡工業大学教授会規程により定める。

第5節 学年、学期及び休業日

(学年)

第9条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を次の2期に分ける。

前 期 4月1日より9月30日まで

後 期 10月1日より翌年3月31日まで

(休業日)

第11条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(3) 本学の開学記念日 11月5日

(4) 春季休業 3月21日から4月10日まで

(5) 夏季休業 8月1日から9月30日まで

(6) 冬季休業 12月25日から翌年1月9日まで

2 必要がある場合は、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第2章 学 部

第1節 修業年限等

(修業年限)

第12条 学部の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第13条 学生は、8年を超えて在学することができない。

ただし、第19条第1項の規定により入学した学生は、同19条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第2節 入 学

(入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

2 特別の必要があり、教育上支障がないときは、入学の時期を学期の始めとすることができる。

(入学の資格)

第15条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (7) その他本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 前項に掲げる者のほか、高等学校に在学し校長が推薦する者は、科目等履修生として入学を認めることがある。

(入学の出願)

第16条 本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の検定料及び別に定める書類を添えて、指定の期日までに願出しなければならない。

(入学者の選考)

第17条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、教授会の議を経て選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第18条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに所定の書類を提出するとともに、所定の入学金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(転入学、編入学)

第19条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者
- (2) 短期大学又は高等専門学校等を卒業した者

2 前項の規定により、入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取り扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

第3節 休学、復学、転学、転学部、転学科、留学、退学、除籍及び再入学

(休学)

第20条 疾病その他やむを得ない理由により、4ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

(休学期間)

第21条 休学期間は1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して2年を超えることができない。

3 休学期間は、第13条の在学期間に算入しない。

(復学)

第22条 休学期間中に、その理由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第23条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。ただし、在学期間1年未満の学生が新たに大学を受験しようとするときは、退学しなければならない。

(転学部及び転学科)

第 23 条の 2 転学部及び転学科は、志願する学生本人の願い出により、教授会の議を経て学長がこれを許可する。

2 転学部及び転学科に関して必要な事項は、別に定める。

(留学)

第 24 条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、1 年を限度として第 37 条に定める在学期間に含めることができる。

(退学)

第 25 条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第 26 条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

(1) 授業料その他の納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(2) 第 13 条に定める在学年限を超えた者

(3) 第 21 条に定める休学期間を超えて、なお修学できない者

(4) 死亡又は長期にわたり行方不明の者

(再入学)

第 27 条 第 25 条及び第 26 条第 1 号の規定により退学し、又は除籍された者については、本人の願い出により、教授会の議を経て、学長がこれを許可する。

第 4 節 教育課程及び履修方法等

(授業科目及び単位)

第 28 条 授業科目は、教養力育成科目、横断科目、専門基礎科目、及び専門教育科目に分ける。但し、社会環境学部については専門基礎科目の区分を設けない。

2 授業科目は、必修科目及び選択科目に分ける。

3 授業科目の種類、必修、選択科目及び単位数等は、別表 2 のとおりとする。

(授業の方法)

第 28 条の 2 授業は講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第 2 項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

(単位の算出方法)

第 29 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、第 28 条の 2 に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね 15 時間から 45 時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって 1 単位として単位数を計算するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究、課題研究等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(1 年間の授業時間)

第 30 条 1 年間の授業を行う期間は、35 週にわたることを原則とする。

(履修年次及び方法)

第 31 条 学生は、別に定める履修要項に従い履修しなければならない。

(単位の授与)

第 32 条 授業科目を履修した学生に対しては、試験その他の大学が定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えるものとする。

(他の大学、専門職大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 33 条 本学は、学生が本学の定めるところにより他の大学、専門職大学又は短期大学において履修し、修得した授業単位のうち、教育上有益と認めるものについては、60 単位を超えない範囲で、教授会の議を経て、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、卒業の要件となる単位として認めることができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下、同じ。）又は外国の短期大学に留学する場合、外国の大学又は外国の短期大学が行う通信教育における授業科目を国内において履修する場合及び外国の大学及び外国の短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度に位置づけられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を国内において履修する場合においても準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第 34 条 本学は、教育上有益と認めるときは、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、教授会の議を経て、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、卒業の要件としうる単位として認めることができる。

- 2 前項の規定により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、第 33 条第 1 項および第 2 項の単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第 35 条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学、専門職大学又は短期大学において履修し、修得した授業科目の単位（第 43 条の規定により履修し、修得した授業科目の単位を含む。）を、教授会の議を経て、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、卒業の要件となる単位として認定することができる。

- 2 前項の規定は、第 33 条第 2 項の場合に準用する。
- 3 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、教授会の議を経て、本学における授業科目の履修とみなし、卒業の要件となる単位として認定することができる。
- 4 前 3 項による単位の認定は、編入学、転入学等の場合を除き、第 33 条第 1 項および第 2 項、第 34 条第 1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えない範囲で行うものとする。

(学修の評価)

第 36 条 授業科目の試験等の評価は、優、良、可及び不可の四段階をもって表示し、優、良及び可を合格とする。但し、教育上有益と認めるときは、優の上位に秀を設けることができる。

また、上記評価に該当しない科目についても、一定の要件を満たすことで授業科目の単位認定をすることができる。

(試験等における不正行為の成績評価措置)

第 36 条の 2 成績評価に関わる試験等の不正行為の措置に関して、必要事項は別に定める。

第 5 節 卒業及び学位授与

(卒業)

第 37 条 本学の学部にて 4 年（第 19 条第 1 項及び第 27 条の規定により入学した者については、それぞれ定められた在学すべき年数）以上在学し、第 28 条第 3 項別表 2 に定める所定の授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した学生については、教授会の議を経て、学長

が卒業を認定する。

(1) 工学部

- イ 教養力育成科目は、コア群から 14 単位、展開群から 12 単位以上、合計 26 単位以上。
- ロ 専門基礎科目と専門教育科目は、必修科目の全部を含め、92 単位以上。
- ハ 教養力育成科目、横断科目、専門基礎科目及び専門教育科目から 14 単位以上。
- ニ 総計 132 単位以上。

(2) 情報工学部

- イ 教養力育成科目は、コア群から 14 単位、展開群から 10 単位以上、合計 24 単位以上。
- ロ 専門基礎科目と専門教育科目は、必修科目の全部を含め、84 単位以上。
- ハ 教養力育成科目、横断科目、専門基礎科目、及び専門教育科目から 16 単位以上。
- ニ 総計 124 単位以上。

(3) 社会環境学部

- イ 教養力育成科目コア群から 18 単位、教養力育成科目展開群及び横断科目から 12 単位以上、合計 30 単位以上。
- ロ 専門教育科目は、基礎科目から 12 単位、基幹科目から 6 単位、基幹科目（前記 6 単位を除く）又は展開科目から 60 単位以上、ゼミナールから 16 単位、必修科目の全部を含め、94 単位以上。
- ハ 総計 124 単位以上。

2 各学部学科のコース及びプログラムを修了する学生の卒業に関する必要な事項は、別に定める。

(学位授与)

第 38 条 前条で卒業を認定した者については、教授会の議を経て、学長が学士の学位を授与し「卒業証書・学位記」を交付する。

2 学位授与に関し必要な事項は、別に定める。

第 6 節 教員の免許

(教員の免許状取得のための所要資格)

第 39 条 教育職員免許法の定めるところにより、中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状を得ようとする者は、第 37 条に規定する科目のほか、別表 3 に規定する科目の単位を修得しなければならない。

2 前項の所要条件を満たし、取得できる教員の免許状の種類は次のとおりとする。

学部	学 科	免許状の種類（免許教科）
工 学 部	電子情報工学科 生命環境化学科 知能機械工学科 電気工学科	高等学校教諭一種免許状（工業）
	生命環境化学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科）
情 報 工 学 部	情報工学科 情報通信工学科 情報システム工学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学）
	情報工学科	高等学校教諭一種免許状（情報）

	情報通信工学科 情報システム工学科 情報マネジメント学科	
境 学 部 社 会 環	社会環境学科	中学校教諭一種免許状 (社会) 高等学校教諭一種免許状 (公民)

第3章 通 則

第1節 賞 罰

(表彰)

第40条 表彰に値する行為があった学生は、学長が表彰することができる。

(懲戒)

第41条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 懲戒に関し必要な事項は、別途これを定める。

第2節 厚生施設

(学生寮)

第42条 本学に学生寮を置く。

- 2 学生寮に関し必要な事項は、別に定める。

第3節 科目等履修生、研究生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第43条 本学において、1又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、本学の教育に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可し、単位を授与することができる。

- 2 科目等履修生に関し、必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第44条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することができる。

- 2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第45条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として1年次に入学、2年次、3年次に編入学、又は科目等履修生若しくは研究生として入学を許可することができる。

- 2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第4節 検定料、入学金及び授業料等

(授業料等)

第46条 学生は、授業料等（以下この節において、授業料、施設設備費、実験実習費、図書費及び学生厚生費を含む。）を納入しなければならない。

(検定料、入学金及び授業料等の額)

第 47 条 本学の検定料、入学金及び授業料等の額は別表 4 のとおりとする。

(授業料等の徴収)

第 48 条 授業料等は、年額の 2 分の 1 ずつを次の 2 期に分けて徴収する。

区 分	納 期
第 1 期 (4 月 1 日から 9 月 3 0 日まで)	4 月 2 0 日まで
第 2 期 (1 0 月 1 日から翌年 3 月 3 1 日まで)	9 月 3 0 日まで

(休学期間中の授業料等)

第 49 条 休学を許可された者の授業料等は、休学した月の翌月から復学した月の前月までの額を免除する。

(退学、除籍及び停学の場合の授業料等)

第 50 条 1 期又は 2 期の中で退学し、又は除籍された者の授業料等は、当該期分を徴収する。

2 停学期間中の授業料等は、徴収する。

(授業料等の免除及び徴収の猶予)

第 51 条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合又はその他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料等の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

2 奨学生制度については、別に定める。

(科目等履修生、研究生等の検定料、入学金及び授業料等)

第 52 条 科目等履修生、研究生及び外国人留学生の科目等履修生、同研究生の検定料、入学金及び授業料等については、別に定める。

(納付した授業料等)

第 53 条 納付された検定料、入学金及び授業料等は返付しない。

第 5 節 公 開 講 座

(公開講座)

第 54 条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することがある。

第 6 節 そ の 他

第 55 条 この学則の改正は、教授会の議を経なければならない。

附 則

学則第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、昭和 61 年度から平成 11 年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	総 定 員
電 子 工 学 科	1 2 0 人	4 8 0 人
電子材料 工 学 科	8 0 人	3 2 0 人
電子機械 工 学 科	1 2 0 人	4 8 0 人
管 理 工 学 科	1 0 0 人	4 0 0 人
電 気 工 学 科	1 2 0 人	4 8 0 人
情 報 工 学 科	1 8 0 人	7 2 0 人

附 則

- 1 福岡工業大学学則（昭和 38 年 4 月 1 日から施行）の全部を改正し、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則は、昭和 63 年 4 月 1 日改正する。
- 3 この学則は、平成元年 4 月 1 日改正する。

4 この学則は、平成2年4月1日改正する。

附 則

5 この学則は、平成3年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員
電 子 工 学 科	130 人
電 子 材 料 工 学 科	120 人
電 子 機 械 工 学 科	140 人
管 理 工 学 科	120 人
電 気 工 学 科	130 人
情 報 工 学 科	200 人

附 則

6 この学則は、平成3年9月1日から施行する。

附 則

7 この学則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

8 この学則は、平成4年10月1日から施行する。

附 則

9 この学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

10 この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

11 この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

12 この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

13 この学則は、平成9年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	入学定員	収容定員
電 子 工 学 科	130 人	520 人
電 子 材 料 工 学 科	120 人	480 人
電 子 機 械 工 学 科	140 人	560 人
電 気 工 学 科	130 人	520 人

(2) 情報工学部

学 科	入学定員	収容定員
情 報 工 学 科	120 人	480 人

情報通信工学科	80人	320人
情報システム工学科	60人	240人
管理情報工学科	60人	240人

附 則

14 この学則は、平成10年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成10年度から平成11年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	入学定員	収容定員
電子工学科	130人	520人
機能材料工学科	120人	480人
電子機械工学科	140人	560人
電気工学科	130人	520人

(2) 情報工学部

学 科	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人
情報システム工学科	60人	240人
管理情報工学科	60人	240人

附 則

15 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成11年度の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	入学定員	収容定員
電子工学科	130人	520人
機能材料工学科	120人	480人
知能機械工学科	140人	560人
電気工学科	130人	520人

(2) 情報工学部

学 科	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人
情報システム工学科	60人	240人
管理情報工学科	60人	240人

附 則

16 この学則は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成12年度		平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	120人	510人	115人	495人	105人	470人
機 能 材 料 工 学 科	110人	470人	100人	450人	90人	420人
知 能 機 械 工 学 科	140人	560人	130人	550人	130人	540人
電 気 工 学 科	120人	510人	115人	495人	105人	470人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	100人	440人	90人	410人
機 能 材 料 工 学 科	80人	380人	80人	350人
知 能 機 械 工 学 科	120人	520人	110人	490人
電 気 工 学 科	100人	440人	90人	410人

(2) 情報工学部

学 科	平成12年度		平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人	60人	240人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人

附 則

17 この学則は、平成13年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	110人	490人	100人	460人
機 能 材 料 工 学 科	80人	430人	80人	390人
知 能 機 械 工 学 科	120人	540人	110人	510人
電 気 工 学 科	100人	480人	90人	440人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
電 子 工 学 科	90人	420人	80人	380人
機 能 材 料 工 学 科	80人	350人	80人	320人
知 能 機 械 工 学 科	100人	470人	80人	410人
電 気 工 学 科	80人	390人	80人	350人

(2) 情報工学部

学 科	平成13年度		平成14年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員
情 報 工 学 科	120人	480人	120人	480人
情 報 通 信 工 学 科	80人	320人	80人	320人
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	60人	240人	60人	240人
管 理 情 報 工 学 科	60人	240人	60人	240人

附 則

18 この学則は、平成14年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	100人	460人	90人	420人	80人	380人
機能材料工学科	80人	390人	80人	350人	80人	320人
知能機械工学科	110人	510人	100人	470人	80人	410人
電気工学科	90人	440人	80人	390人	80人	350人

(2) 情報工学部

学 科	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人
管理情報工学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人

附 則

19 この学則は、平成15年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成15年度及び平成16年度の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	90人	420人	80人	380人
機能材料工学科	80人	350人	80人	320人
知能機械工学科	100人	470人	80人	410人
電気工学科	80人	390人	80人	350人

(2) 情報工学部

学 科	平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	60人	240人	60人	240人
管理情報工学科	60人	240人	60人	240人

附 則

20 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	80人	380人	80人	350人	80人	330人
機能材料工学科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
知能機械工学科	100人	430人	100人	410人	100人	400人
電気工学科	80人	350人	80人	330人	80人	320人

(2) 情報工学部

学 科	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	80人	260人	80人	280人	80人	300人
システムマネジメント学科	60人	240人	60人	240人	60人	240人

附 則

21 この学則は、平成17年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成17年度から平成18年度までの間の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	80人	350人	80人	330人
生命環境科学科	80人	320人	80人	320人
知能機械工学科	100人	410人	100人	400人
電気工学科	80人	330人	80人	320人

(2) 情報工学部

学 科	平成17年度		平成18年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	120人	480人	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人	80人	320人
情報システム工学科	80人	280人	80人	300人
システムマネジメント学科	60人	240人	60人	240人

附 則

22 この学則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

23 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項及び第3項の規定にかかわらず、平成18年度の収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成18年度	
	入学定員	収容定員
電子情報工学科	80人	330人
生命環境科学科	80人	320人
知能機械工学科	100人	400人
電 気 工 学 科	80人	320人

(2) 情報工学部

学 科	平成18年度	
	入学定員	収容定員
情 報 工 学 科	120人	480人
情報通信工学科	80人	320人
情報システム工学科	80人	300人
システムマネジメント学科	60人	240人

附 則

24 この学則は、平成18年5月1日から施行する。

附 則

25 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

26 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

27 この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

28 この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

29 この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

30 この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

31 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

32 この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

33 この学則は、平成26年8月1日から施行する。

附 則

34 この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

35 この学則は、平成28年4月1日から施行する。

ただし、学則第2条第2項、第3項及び第4項の規定にかかわらず、平成28年度から平成29年度までの収容定員は、次のとおりとする。

(1) 工学部

学 科	平成28年度		平成29年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
電子情報工学科	90人	340人	90人	350人
生命環境科学科	90人	340人	90人	350人
知能機械工学科	110人	420人	110人	430人
電気工学科	90人	340人	90人	350人

(2) 情報工学部

学 科	平成28年度		平成29年度	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
情報工学科	130人	500人	130人	510人
情報通信工学科	90人	340人	90人	350人
情報システム工学科	90人	340人	90人	350人
システムマネジメント学科	65人	250人	65人	255人

(3) 社会環境学部

学 科	平成 28 年度			平成 29 年度		
	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
社会環境学科	160人	30人	680人	160人	30人	690人

附 則

36 この学則は、平成28年5月1日から施行する。

附 則

37 この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

38 この学則は、平成30年5月25日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則

39 この学則は、平成30年7月26日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則

40 この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

41 この学則は、令和元年12月1日から施行する。

附 則

42 この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

43 この学則は、令和2年7月1日から施行する。

附 則

44 この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

45 この学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

46 この学則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

47 この学則は、令和6年4月1日から施行する。

ただし、令和6年4月1日に実施する改組転換に伴い、次の学科の収容定員は学則第2条第3項の規定にかかわらず、令和6年度から令和9年度までは、次のとおりとする。

令和6年度より学生募集を停止する学科

学部・学科	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
情報工学部システムマネジメント学科	195	130	65	0

令和6年度に開設する学科

学部・学科	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
情報工学部情報マネジメント学科	90	180	270	360

附 則

48 この学則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

49 この学則は、令和8年4月1日から施行する。

別表1 学則第2条の2に係る各学部及び各学科並びに教職課程の教育研究上の目的

学部・学科	教育研究上の目的
工学部	工学分野の基礎となる知識と技術ならびにグローバルな視点を有し、かつそれらを社会の安全・安心な発展のために用いる倫理観と問題解決能力、主体性を備えた実践型人材の育成を目的とする。
電子情報工学科	現代社会において、科学技術者は、科学技術への貢献はもとより、社会人として自立し、広い視野に立ち柔軟な発想を行えることが求められている。本学科は、電子技術と情報技術が融合した技術分野において、このような要請に応えることができる実践型の人材の養成を目的とする。
生命環境化学科	地球の様々な環境問題が深刻化する今日、環境の管理、保全、改善と修復の基本理念を理解し、物理・化学的、及び生物的アプローチ等の多様な先端技術を用いて、問題を解決する能力を持つ自立した技術者の人材の養成を目的とする。
知能機械工学科	情報技術と生産技術を融合した知能機械が主流となった機械分野において、基礎及び専門技術に関する知識と応用力を身につけるとともに、それらを駆使したデザイン能力とコミュニケーション能力を有し、技術者倫理をもってグローバルな活躍ができる人材の養成を目的とする。
電気工学科	日々進歩する電気・電子・情報工学の技術を理解し、習得するための素養と専門知識及び技術を身につけ、国際感覚と倫理観を有するとともに、地域産業のニーズも理解し、地域的また国際的連携の両方を意識して活躍できるグローバルな技術人材の養成を目的とする。
情報工学部	情報工学およびコンピュータ利用技術に関して、数理系の専門基礎から情報工学の幅広い応用に関する専門分野までを教授研究し、グローバル化・高度情報化が進展する社会において、修得した知識や技術を活用し、主体的に課題解決ができる実践型人材の育成を目的とする。
情報工学科	コンピュータのソフトウェア・ハードウェアの基礎及び応用を教授研究し、プログラミングに習熟させるとともに、インターネットや人工知能、知能ロボット、自然言語処理、画像処理、データベース、マルチメディア、CG、システムLSIなどの最先端のコンピュータ技術・応用技術を持つ専門的職業人及び教育研究者の人材の養成を目的とする。
情報通信工学科	今日の情報通信関連技術は、あらゆる産業分野における基幹技術としての影響力を持つようになり、社会生活の中に深く関係している。このように情報通信工学の裾野が限りなく広がり、技術的な可能性が満ち溢れる世界で、独創性を発揮し、多様化する先端技術を開拓できる技術者及び情報通信関連分野の研究能力を有する人材の養成を目的とする。
情報システム工学科	今日まで発展を遂げてきた情報技術が社会的基盤となり、人々の暮らしを支える情報システムのサービス形態は、変化・適用・深化を繰り返しながらこれからも発展し続けていくことが予想される。本学科では、情報技術、ロボット制御、生体システムを柱とする実践的教育を展開し、技術者倫理、コミュニケーション能力、エンジニアリングデザイン能力を身につけることで、社会の持続的発展に不可欠な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者の養成を目的とする。
情報マネジメント学科	ITスキルやデータサイエンスに関する知識と技術及び経営工学に関する知識の修得とともに、情報の活用による組織の価値を高めるためのマネジメント手法を修得させる教育を行い、情報処理と情報分析に関する理論や手法を組織活動の場面に適用することができる行動力をもって、組織の知力の向上や組織の価値の創造に貢献できる人材の養成を目的とする。

社会環境学部	環境に関わる諸問題に関して主として社会科学の立場からアプローチし、社会の仕組みを理解した上で、グローバルな視点から持続可能な社会実現に主体的・自律的に貢献することのできる実践型人材の育成を目的とする。
社会環境学科	環境に関わる諸問題に関して主として社会科学の立場からアプローチし、社会の仕組みを理解した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる実践型の人材の養成を目的とする。
教職課程	教職の意義、教育の原理及び人間の発達を理解し、将来の教育者としての専門的知識、方法技術さらに実践的能力を高めるとともに、使命感及び倫理観と教育的愛情を育む人材の養成を目的とする。

別表 2

学則第 28 条第 3 項に係る授業科目の種類、必修、選択科目及び単位数等について

1. 工学部

(1) 教養力育成科目

区分	授 業 科 目	履修年次及び単位数					備考	
		1 年	2 年	3 年	4 年	計		
コア群	教養力基盤	キャリア・デザイン	2				2	英語科目は、 習熟度によ り①②③④ からそれぞ れ1科目を受 講。
		コミュニケーション・デザイン	2				2	
		ウェルネス基礎	2				2	
		Freshman English A } ①	2				2	
		Advanced English A } ①	2				2	
		Freshman English B } ②	2				2	
		Advanced English B } ②	2				2	
		Essential English A } ③		2			2	
		Communicative English A } ③		2			2	
		Essential English B } ④		2			2	
Communicative English B } ④		2			2			
展開群	多面的視座	自己成長と学び		2			2	IT リテラシ ーは、生命環 境化学科、電 気工学科で は必修。電子 情報工学科、 知能機械工 学科では選 択。
		IT リテラシー	2				2	
		AI データサイエンス基礎	2				2	
		生命と生態系	2				2	
		化学と生活	2				2	
		科学史	2				2	
		産業デザイン		2			2	
		地域創生論	2				2	
		市民生活と法	2				2	
		日本国憲法	2				2	
		心理学	2				2	
		文学	2				2	
		現代倫理	2				2	
		経済学	2				2	
		社会学	2				2	
		九州学	2				2	
		異文化理解	2				2	
		中国の文化と言葉		2			2	
		韓国の文化と言葉		2			2	
		実践知	ウェルネス応用		2			
	地域創生 PBL		2				2	
	日本語実践			2			2	
	仕事理解型実習			2			2	
	課題解決型インターンシップ				2		2	
	海外研修		2		2		2	

(2) 横断科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
科目横断	AI データサイエンス実践			1		1	選択
	Future Vision 講座	1				1	選択
	Future Vision 実践	1				1	選択

「Future Vision 講座」および「Future Vision 実践」の各科目においては、原則として科目名に () 書きで主題を付し、個別の科目として開講し、複数履修し、取得することができる。

(3) 専門基礎科目及び専門教育科目

(ア) 電子情報工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	電子情報基礎数学	4				4	必修
	電子情報数学	4				4	必修
	線形代数Ⅰ		2			2	必修
	線形代数Ⅱ		2			2	選択
	微分方程式		2			2	必修
	初等統計学		2			2	選択
	物理概論	2				2	必修
	物理学Ⅰ	2				2	必修
	物理学Ⅱ		2			2	必修

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
電子情報基礎科目	電子工学基礎	2				2	必修
	論理回路	2				2	必修
	電磁気学Ⅰ	2				2	必修
	電磁気学Ⅱ		2			2	必修
	電子計測		2			2	必修
	制御基礎			2		2	必修
	制御工学			2		2	選択
デバイス系科目	電子物性		2			2	必修
	電子デバイスⅠ			2		2	必修
	電子デバイスⅡ			2		2	必修
	光エレクトロニクス			2		2	選択
	先端デバイス工学			2		2	選択
回路系科目	電気回路Ⅰ	2				2	必修
	電気回路Ⅱ		2			2	必修
	電気回路Ⅲ		2			2	必修
	電子回路Ⅰ		2			2	必修

	電子回路Ⅱ		2		2	必修	
	電子回路応用			2	2	必修	
	電気電子回路実習			2	2	選択	
情報処理系科目	プログラミング基礎	4			4	必修	
	プログラミング演習		2		2	必修	
	応用プログラミング		2		2	必修	
	デジタル信号処理			2	2	必修	
	人工知能基礎と演習			2	2	必修	
	情報ネットワーク基礎と演習			2	2	選択	
	応用デジタル信号処理			2	2	必修	
共通科目	技術者倫理		2		2	選択	
	技術英語			2	2	選択	
	プレゼンテーション			2	2	選択	
	情報技術資格		2		2	選択	
	無線技術資格		2		2	選択	
	電子情報工学入門	2			2	必修	
	物理・電子情報基礎実験	2			2	必修	
	電子情報実験Ⅰ		2		2	必修	
	電子情報実験Ⅱ		2		2	必修	
	電子情報実験Ⅲ			2	2	必修	
	創成実験			2	2	必修	
	コンピュータシステムⅠ	2			2	必修	
	コンピュータシステムⅡ		2		2	必修	
	IoT基礎と演習			2	2	選択	
	電子情報工学総合			2	2	必修	
	卒業研究				6	6	必修
	工学概論		2			2	選択
	国際工学実習			2		2	選択

(イ) 生命環境化学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
自然科学科目	線形代数	2				2	必修
	基礎数学	2				2	選択
	解析 I	2				2	必修
	解析 II	2				2	必修
	応用数学		2			2	必修
	統計解析		2			2	選択
	基礎物理学	2				2	必修
	物理学		2			2	選択
	物理学実験			2		2	選択
	化学	2				2	必修
	生物学	2				2	必修
	コンピューター言語		2			2	選択

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
基盤化学科目	生命環境化学概論	1				1	必修
	生命環境化学ゼミナール I			1		1	選択
	生命環境化学ゼミナール II			1		1	選択
	化学実験	2				2	必修
	物理化学 I	2				2	必修
	物理化学 II		2			2	必修
	物理化学 III			2		2	選択
	物理化学 I 演習	1				1	必修
	物理化学 II 演習		1			1	必修
	分析化学		2			2	必修
	機器分析化学		2			2	必修
	環境分析化学		2			2	選択
	機器分析化学実験		2			2	選択
	有機化学 I	2				2	必修
	有機化学 II		2			2	必修
	無機化学 I		2			2	必修
	無機化学 II			2		2	選択
	物質化学分野	固体物質工学			2		2
化学工学 I				2		2	選択
化学工学 II				2		2	選択
電気化学				2		2	選択
ナノマテリアル化学				2		2	選択
高分子化学				2		2	選択
環境物質工学実験				2		2	選択

環境・エネルギー分野	環境科学総論	2				2	必修
	環境科学 I		2			2	選択
	環境科学 II		2			2	選択
	資源循環工学			2		2	選択
	環境浄化学			2		2	選択
	地球科学		2			2	選択
	地球科学実験			2		2	選択
生命科学分野	生命科学基礎	2				2	必修
	生物化学 I	2				2	必修
	生物化学 II		2			2	選択
	生物化学実験		2			2	必修
	微生物学		2			2	選択
	応用微生物学			2		2	選択
	分子生物学		2			2	選択
	遺伝子工学			2		2	選択
	細胞生物学			2		2	選択
	生命科学実験			2		2	選択
食品分野	食品学ゼミナール		1			1	選択
	食品化学		2			2	選択
	食品物性学実験		2			2	選択
	化粧品科学			2		2	選択
	栄養化学		2			2	選択
	栄養生理学			2		2	選択
	生体成分分析実験			2		2	選択
	食品微生物発酵学		2			2	選択
	食品分析学			2		2	選択
	食品分析学実験			2		2	選択
	食品衛生学			2		2	選択
	毒性学			2		2	選択
	食品環境衛生学			2		2	選択
健康食品概論			2		2	選択	
研究 卒業	卒業研究				6	6	必修
科目 共通	工学概論		2			2	選択

(ウ) 知能機械工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	数学基礎演習	2				2	必修
	線形代数Ⅰ	2				2	必修
	解析Ⅰ及び演習	4				4	必修
	線形代数Ⅱ	2				2	必修
	解析Ⅱ		2			2	必修
	微分方程式		2			2	必修
	解析Ⅲ			2		2	選択
	確率と統計		2			2	選択
	物理基礎演習	2				2	必修
	物理学Ⅰ及び演習	4				4	必修
	機械物理学実験	2				2	必修
物理学Ⅱ		2			2	必修	

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
機械基礎学	ものづくり基礎実習	4				4	必修
	熱力学Ⅰ		2			2	必修
	熱力学Ⅱ			2		2	必修
	伝熱工学			2		2	選択
	流体力学Ⅰ		2			2	必修
	流体力学Ⅱ			2		2	必修
	機械力学Ⅰ		2			2	必修
	機械力学Ⅱ			2		2	必修
	材料力学Ⅰ		2			2	必修
	材料力学Ⅱ			2		2	必修
エネルギー・環境工学			2		2	選択	
知能機械設計学	基礎製図Ⅰ	2				2	必修
	基礎製図Ⅱ	2				2	必修
	知能機械設計Ⅰ		4			4	必修
	知能機械設計Ⅱ			4		4	必修
	CADシステム		2			2	必修
	トライボロジー			2		2	選択
知能生産工学	機械材料		2			2	必修
	機械工作法Ⅰ		2			2	必修
	機械工作法Ⅱ			2		2	選択
	デジタルエンジニアリング		2			2	選択

知能計測制御工学	電気基礎学		2			2	必修	
	知能機械制御工学			2		2	必修	
	ロボット工学			2		2	選択	
	計測工学			2		2	選択	
	人工知能概論			2		2	選択	
共通科目	知能機械基礎実験Ⅰ		2			2	必修	
	知能機械基礎実験Ⅱ		2			2	必修	
	工業技術史	2				2	必修	
	技術者倫理		2			2	必修	
	知能機械制御言語及び演習		2			2	選択	
	先端知能機械工学概論及び実習			2		2	選択	
	数値解析			2		2	選択	
	工学概論		2			2	選択	
	国際工学実習			2		2	選択	
知能機械創成実験			2		2	必修		
研究卒業	卒業研究					6	6	必修

(工) 電気工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	電気基礎数学	2				2	必修
	解析Ⅰ	2				2	必修
	解析Ⅱ	2				2	必修
	線形代数Ⅰ	2				2	必修
	線形代数Ⅱ		2			2	選択
	解析Ⅲ		2			2	必修
	解析Ⅳ		2			2	選択
	電気基礎物理学	2				2	必修
	力学Ⅰ	2				2	必修
	力学Ⅱ		2			2	必修
	熱力学		2			2	選択

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
学 電気基礎	電磁気学Ⅰ	2				2	必修
	電磁気学Ⅱ	2				2	必修
	電磁気学Ⅲ		2			2	必修
	電気回路Ⅰ	2				2	必修

	電気回路Ⅱ	2			2	必修
	電気回路Ⅲ		2		2	必修
	電気回路Ⅳ		2		2	必修
	電気計測		2		2	必修
	基礎物質工学	2			2	必修
	半導体工学		2		2	必修
	電気基礎学概論			2	2	選択
電気エネルギーシステム工学	電気エネルギーシステム工学Ⅰ		2		2	必修
	電気エネルギーシステム工学Ⅱ		2		2	必修
	電気エネルギーシステム工学Ⅲ			2	2	選択
	電気エネルギーシステム工学Ⅳ			2	2	選択
	電気法規及び施設管理			2	2	選択
	交流電力伝送の基礎		2		2	必修
	高電圧工学			2	2	選択
	電気応用		2		2	必修
情報制御工学	論理表現	2			2	必修
	電気工学フレッシュマン演習	2			2	必修
	プログラミング言語		2		2	必修
	システム制御工学Ⅰ		2		2	必修
	システム制御工学Ⅱ			2	2	選択
	現代制御			2	2	選択
	メカトロニクスⅠ		2		2	必修
	メカトロニクスⅡ			2	2	選択
	デジタル制御			2	2	選択
	ロボット工学			2	2	選択
	技術者倫理		2		2	必修
電気機器・パワーエレクトロニクス工学	電気工学概論	2			2	必修
	電気機器Ⅰ	2			2	必修
	電気機器Ⅱ		2		2	必修
	電気機器Ⅲ		2		2	必修
	パワーエレクトロニクス			2	2	必修
	電気機器設計・製図			2	2	選択
	電子回路Ⅰ	2			2	必修
	電子回路Ⅱ		2		2	選択
	デジタル回路			2	2	選択
	エンジニアリングデザインⅠ		2		2	必修
	エンジニアリングデザインⅡ			4	4	選択
実験・実習科目	電気基礎学実験		2		2	必修
	電気工学実験Ⅰ			2	2	必修
	電気工学実験Ⅱ			2	2	必修
	卒業研究				6	6

実験・総合科目	電験理論	2			2	選択
	電験電力		2		2	選択
	電験法規		2		2	選択
	電験機械			2	2	選択
	電気工学総合			2	2	必修
関連科目	機械工学概論			2	2	選択
	通信工学概論			2	2	選択
	工学概論		2		2	選択
	国際工学実習			2	2	選択

2. 情報工学部

(1) 教養力育成科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考		
		1年	2年	3年	4年	計			
コア群	教養力基盤	キャリア・デザイン	2				2	英語科目は、習熟度により①②③④からそれぞれ1科目を受講。	
		コミュニケーション・デザイン	2				2		
		ウェルネス基礎	2				2		
		Freshman English A	}	①	2				2
		Advanced English A			2				2
		Freshman English B	}	②	2				2
		Advanced English B			2				2
		Essential English A	}	③		2			2
		Communicative English A				2			2
		Essential English B	}	④		2			2
Communicative English B		2				2			
展開群	多面的視座	自己成長と学び		2			2		
		AI データサイエンス基礎	2				2		
		生命と生態系	2				2		
		化学と生活	2				2		
		科学史	2				2		
		産業デザイン		2			2		
		地域創生論	2				2		
		市民生活と法	2				2		
		日本国憲法	2				2		
		心理学	2				2		
		文学	2				2		
		現代倫理	2				2		
		経済学	2				2		
		社会学	2				2		
		九州学	2				2		
		異文化理解	2				2		
		中国の文化と言葉		2			2		
		韓国の文化と言葉		2			2		
		実践知	ウェルネス応用		2				2
			地域創生 PBL	2					2
	日本語実践			2			2		
	仕事理解型実習			2			2		
	課題解決型インターンシップ				2		2		
	海外研修		2		2		2		

(2) 横断科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
横断科目	AI データサイエンス実践			1		1	選択
	アプリ開発実践		2			2	選択
	Future Vision 講座	1				1	選択
	Future Vision 実践	1				1	選択

「Future Vision 講座」および「Future Vision 実践」の各科目においては、原則として科目名に（ ）書きで主題を付し、個別の科目として開講し、複数履修し、取得することができる。

(3) 専門基礎科目及び専門教育科目

(ア) 情報工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	線形代数Ⅰ	2				2	必修
	線形代数Ⅱ	2				2	選択
	線形代数Ⅲ		2			2	選択
	解析Ⅰ	2				2	必修
	解析Ⅱ	2				2	選択
	基礎物理学	2				2	選択
	物理学Ⅰ	2				2	必修
	物理学Ⅱ		2			2	選択
	幾何学とマルチメディア			2		2	選択
	解析Ⅲ		2			2	選択
	基礎電磁気学		2			2	選択
	幾何学的情報数学		2			2	選択
	微分方程式		2			2	選択
	代数学と暗号			2		2	選択
	複素関数論			2		2	選択
	情報物理学			2		2	選択
	応用幾何学				2	2	選択
代数学と符号化				2	2	選択	

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
情報基礎学	情報基礎ゼミナール	2				2	必修
	コンピュータリテラシー	2				2	必修
	コンピュータ科学	2				2	必修
	離散数学	2				2	必修
	確率統計論	2				2	必修

	オートマトンと形式言語		2			2	必修
	情報工学特別講義			2		2	必修
	情報理論			2		2	選択
	数値計算		2			2	選択
	情報技術者倫理			2		2	必修
	プログラミング言語論			2		2	選択
コンピュータソフトウェア工学	Cプログラミング I	2				2	必修
	Cプログラミング II	2				2	必修
	オペレーティングシステム		2			2	必修
	データ構造とアルゴリズム		2			2	必修
	データエンジニアリング		2			2	選択
	人工知能プログラミング		2			2	選択
	ソフトウェア工学 I			2		2	選択
	ソフトウェア工学 II			2		2	選択
	JAVAプログラミング I		2			2	必修
	情報工学実験 III			2		2	必修
	ネットワークプログラミング			2		2	選択
	JAVAプログラミング II		2			2	選択
	HCIプログラミング			2		2	選択
	情報工学実験 IV			2		2	必修
コンピュータハードウェア工学	電気電子回路 I	2				2	必修
	電気電子回路 II	2				2	選択
	コンピュータアーキテクチャ I	2				2	必修
	論理回路		2			2	必修
	コンピュータアーキテクチャ II		2			2	選択
	情報工学実験 I		2			2	必修
	論理設計		2			2	選択
	情報工学実験 II		2			2	必修
	情報ネットワーク		2			2	必修
	デジタルシステム設計			2		2	選択
	システム LSI			2		2	選択
	システム工学とプロジェクト管理			2		2	選択
知能情報メディア工学	マルチメディア工学	2				2	選択
	データベース		2			2	選択
	人工知能基礎	2				2	選択
	自然言語処理		2			2	選択
	コンピュータグラフィックス		2			2	選択
	人工知能応用		2			2	選択
	デジタル信号処理			2		2	選択
	ロボティクス			2		2	選択
	ヒューマンコンピュータ・インタラクション			2		2	必修
	情報セキュリティ			2		2	選択
音情報処理			2		2	選択	

	画像情報処理			2		2	選択
	パターン認識			2		2	選択
共通	プロジェクト型演習Ⅰ		2			2	選択
	プロジェクト型演習Ⅱ			2		2	選択
	情報技術資格Ⅰ		2			2	選択
	情報技術資格Ⅱ			2		2	選択
	卒業研究					6	6

(イ) 情報通信工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
数学・物理学	微分積分Ⅰ	2				2	必修
	微分積分Ⅱ	2				2	必修
	微分方程式とベクトル解析		2			2	選択
	幾何学とマルチメディア			2		2	選択
	応用幾何学				2	2	選択
	線形代数Ⅰ	2				2	必修
	線形代数Ⅱ	2				2	必修
	確率・統計		2			2	選択
	複素関数論			2		2	選択
	代数学と暗号			2		2	選択
	代数学と符号化				2	2	選択
	基礎物理学	2				2	必修
	物理学Ⅰ	2				2	選択
	物理学Ⅱ		2			2	選択
	現代物理学入門			2		2	選択
光と物質			2		2	選択	

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
情報工学	コンピュータ工学	2				2	必修
	データ構造とアルゴリズム		2			2	選択
	情報セキュリティⅠ			2		2	選択
	情報セキュリティⅡ			2		2	選択
	情報理論		2			2	必修
	デジタル信号処理Ⅰ			2		2	選択
	デジタル信号処理Ⅱ			2		2	選択
プログラミング	プログラミング基礎Ⅰ	2				2	必修
	プログラミング基礎Ⅱ	2				2	必修
	オブジェクト指向プログラミングⅠ		2			2	必修
	オブジェクト指向プログラミングⅡ		2			2	選択

	スクリプト言語プログラミングⅠ			2		2	選択
	スクリプト言語プログラミングⅡ			2		2	選択
	Web デザイン	2				2	必修
	バーチャルデザイン		2			2	選択
	Web データベース			2		2	選択
	Web プログラミング			2		2	選択
情報ネットワーク工学	情報ネットワークⅠ	2				2	必修
	情報ネットワークⅡ	2				2	必修
	情報ネットワークⅢ		2			2	選択
	ネットワークシステムⅠ		2			2	必修
	ネットワークシステムⅡ		2			2	選択
	ネットワークシミュレーション			2		2	選択
	ネットワークプログラミング			2		2	選択
通信基礎	電気回路Ⅰ	2				2	必修
	電気回路Ⅱ	2				2	必修
	電気回路Ⅲ		2			2	選択
	デジタル回路Ⅰ		2			2	選択
	デジタル回路Ⅱ		2			2	選択
	電子回路Ⅰ	2				2	必修
	電子回路Ⅱ		2			2	選択
	計測工学Ⅰ		2			2	選択
	計測工学Ⅱ			2		2	選択
無線工学	電磁気学Ⅰ	2				2	選択
	電磁気学Ⅱ		2			2	選択
	電磁波伝搬		2			2	選択
	アンテナ工学			2		2	選択
	電磁波応用技術			2		2	選択
	モバイルコミュニケーション工学				2	2	選択
情報伝送工学	情報通信工学Ⅰ		2			2	必修
	情報通信工学Ⅱ		2			2	必修
	情報伝送工学			2		2	選択
	情報交換システム			2		2	選択
実験・研究	コンピュータソフトウェア実験	2				2	必修
	計測・回路実験	2				2	必修
	情報通信基礎実験		4			4	必修
	情報通信応用実験			4		4	必修
	卒業研究				6	6	必修
支援科目 資格取得	情報技術資格		2			2	選択
	通信法規			2		2	選択
科目 共通	技術者倫理		2			2	選択

(ウ) 情報システム工学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	線形代数Ⅰ	2				2	必修
	線形代数Ⅱ	2				2	必修
	数学演習	2				2	必修
	解析Ⅰ	2				2	必修
	解析Ⅱ	2				2	必修
	解析Ⅲ		2			2	選択
	微分方程式		2			2	選択
	幾何学とマルチメディア			2		2	選択
	代数学と暗号			2		2	選択
	応用幾何学				2	2	選択
	代数学と符号化				2	2	選択
	物理学Ⅰ	2				2	必修
	物理学Ⅱ	2				2	選択
	情報物理実験	2				2	必修
複素関数論			2		2	選択	

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
情報基礎工学	技術基礎数学	2				2	必修
	情報技術史		2			2	選択
	電気工学基礎	2				2	必修
	論理回路		2			2	必修
	電子工学基礎	2				2	必修
	確率統計		2			2	必修
	情報解析学		2			2	必修
	情報技術者倫理		2			2	選択
	テクニカルライティング			2		2	必修
	アカデミックプレゼンテーション			2		2	必修
フューチャープランニング		2			2	必修	
情報工学	CプログラミングⅠ	2				2	必修
	CプログラミングⅡ	2				2	必修
	データ構造とアルゴリズム		2			2	選択
	計算機工学Ⅰ	2				2	必修
	計算機工学Ⅱ		2			2	選択
	応用プログラミングⅠ		2			2	選択
	マルチメディアWeb技術			2		2	選択
	応用プログラミングⅡ			2		2	選択
情報ネットワークシステム		2			2	選択	

	コンピュータグラフィックス			2		2	選択
	画像処理工学			2		2	選択
	人工知能			2		2	選択
システム工学	ロボット設計	2				2	必修
	生体情報計測学		2			2	必修
	センサ情報処理		2			2	選択
	生体システム論			2		2	選択
	機械システム論			2		2	選択
	システム制御工学Ⅰ		2			2	必修
	システム制御工学Ⅱ			2		2	選択
	デジタル制御工学			2		2	選択
	基礎ロボット工学		2			2	必修
	知能ロボット工学			2		2	選択
	メガトロアクチュエータ			2		2	選択
	ロボットシミュレーション			2		2	選択
	組込みシステム			2		2	選択
	システム開発応用			2		2	選択
共通	情報リテラシー	2				2	必修
	情報技術資格Ⅰ		2			2	選択
	情報技術資格Ⅱ			2		2	選択
	フレッシュマンプログラム	2				2	必修
	情報システム工学実験Ⅰ		2			2	必修
	情報システム工学実験Ⅱ		2			2	必修
	情報システム工学概論		2			2	必修
	情報システム工学実験Ⅲ			2		2	必修
	情報システム工学実験Ⅳ			2		2	必修
	卒業研究					6	6

(エ) 情報マネジメント学科

A. 専門基礎科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
専門基礎科目	基礎数学Ⅰ	3				3	必修
	基礎数学Ⅱ	3				3	必修
	物理学Ⅰ	2				2	選択
	物理学Ⅱ	2				2	選択
	統計学への誘い	2				2	必修
	解析学	2				2	選択
	線形代数		2			2	選択
	微分方程式		2			2	選択
	情報数理入門		2			2	選択
	離散数学Ⅰ		2			2	選択
	離散数学Ⅱ			2		2	選択

B. 専門教育科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
経営工学	経営システム論	2				2	必修
	インダストリアル・エンジニアリング	2				2	必修
	オペレーションズ・リサーチI		2			2	必修
	オペレーションズ・リサーチ II		2			2	必修
	経営管理論		2			2	必修
	工業心理学		2			2	選択
	経営計算論		2			2	選択
	生産管理論		2			2	必修
	人間工学		2			2	選択
	オペレーションズ・リサーチ III			2		2	選択
	ゲーム理論			2		2	選択
	サプライチェーン・マネジメント			2		2	選択
	信頼性工学			2		2	選択
	マーケティング論			2		2	選択
	品質管理論			2		2	選択
	e-ビジネス論			2		2	選択
ベンチャービジネス論			2		2	選択	
データサイエンス	コンピュータ基礎学	2				2	選択
	WEB デザイン	2				2	選択
	プログラミング入門	2				2	必修
	データベース	2				2	必修
	プログラミング I		2			2	必修
	プログラミング II		2			2	選択
	社会調査のためのデータサイエンス		2			2	必修
	科学分析のためのデータサイエンス		2			2	選択
	数理モデリング		2			2	必修
	メディア科学 I		2			2	選択
	感性工学		2			2	選択
	確率システム入門		2			2	選択
	ソフトウェア開発			2		2	選択
	データビジュアライゼーション			2		2	選択
	人工知能			2		2	選択
	メディア科学 II			2		2	選択
	ソフトコンピューティング			2		2	選択
	応用データサイエンス			2		2	選択
	経営シミュレーション			2		2	選択
	金融工学			2		2	選択
共通	情報リテラシー	2				2	必修
	情報マネジメント基礎演習 I	2				2	必修
	情報マネジメント基礎演習 II	2				2	必修
	情報技術演習 I	2				2	選択

	データ構造とアルゴリズム		2			2	必修
	グローバルデジタル概論		2			2	必修
	情報倫理		2			2	選択
	情報マネジメント実践演習		4			4	必修
	情報マネジメント海外事情		2			2	選択
	知的所有権と法			2		2	選択
	情報技術演習Ⅱ			2		2	選択
卒 研 ゼ ミ	情報マネジメントゼミナール		4			4	必修
	情報マネジメントプロジェクト演習			4		4	必修
	卒業研究				6	6	必修

[注] 共通科目『情報マネジメント海外事情』は2年または3年のいずれかの学年で履修可能。

3. 社会環境学部

社会環境学科

(1) 教養力育成科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考	
		1年	2年	3年	4年	計		
コア群	キャリア・デザイン	2				2	英語科目は、習熟度により①②③④からそれぞれ1科目を受講。	
	コミュニケーション・デザイン	2				2		
	ウェルネス基礎	2				2		
	AI データサイエンス基礎	2				2		
	自己成長と学び		2			2		
	Freshman English A } ①	2				2		
	Advanced English A } ①	2				2		
	Freshman English B } ②	2				2		
	Advanced English B } ②	2				2		
	Essential English A } ③		2			2		
	Communicative English A } ③		2			2		
	Essential English B } ④		2			2		
Communicative English B } ④		2			2			
展開群	多面的視座	IT リテラシー	2				2	選択
		生命と生態系	2				2	選択
		化学と生活	2				2	選択
		科学史	2				2	選択
		産業デザイン		2			2	選択
		地域創生論	2				2	選択
		市民生活と法	2				2	選択
		日本国憲法	2				2	選択
		心理学	2				2	選択
		文学	2				2	選択
		現代倫理	2				2	選択
		経済学	2				2	選択
		社会学	2				2	選択
		九州学	2				2	選択
		異文化理解	2				2	選択
		中国の文化と言葉		2			2	選択
		韓国の文化と言葉		2			2	選択
		実践知	ウェルネス応用		2			2
	地域創生 PBL		2				2	選択
	日本語実践			2			2	選択
	仕事理解型実習			2			2	選択
	課題解決型インターンシップ				2		2	選択
	海外研修		2				2	選択

(2) 横断科目

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
科目横断	Future Vision 講座	1				1	選択
	Future Vision 実践	1				1	選択

「Future Vision 講座」および「Future Vision 実践」の各科目においては、原則として科目名に（ ）書きで主題を付し、個別の科目として開講し、複数履修し、取得することができる。

(3) 専門教育科目

社会環境学科

区分	授業科目	履修年次及び単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	計	
基礎科目	社会環境学a(社会調査入門)	2				2	必修
	社会環境学b(経済学入門)	2				2	必修
	社会環境学c(法学入門)	2				2	必修
	社会環境学d(自然科学入門)	2				2	必修
	経営学概論	2				2	必修
	マクロ経済学	2				2	必修
基幹科目	空間情報学Ⅰ	2				2	選択
	政治学Ⅰ	2				2	選択
	情報法Ⅰ	2				2	選択
	民法Ⅰ	2				2	選択
	環境政策Ⅰ		2			2	選択
	環境水文学		2			2	選択
	国際法Ⅰ		2			2	選択
	マーケティング論		2			2	選択
	企業論		2			2	選択
	ミクロ経済学		2			2	選択
	環境経済学		2			2	選択
	経営戦略論		2			2	選択
	環境社会学		2			2	選択
	アジア経済論		2			2	選択
	環境民俗学				2	2	選択
環境生態学				2	2	選択	
ゼミナール	基礎ゼミナール	4				4	必修
	ゼミナールⅠ		4			4	必修
	ゼミナールⅡ			4		4	必修
	ゼミナールⅢ				4	4	必修
展開科目	簿記論	2				2	選択
	空間情報学Ⅱ	2				2	選択
	国際関係史	2				2	選択
	社会統計学	2				2	選択

会計学	2				2	選択
歴史学概論	2				2	選択
ビジネスプラン	2				2	選択
国際社会環境学演習	2				2	選択
ビジネスゲーム実践 I		2			2	選択
地理学概論		2			2	選択
経済発展論		2			2	選択
政治学 II		2			2	選択
情報法 II		2			2	選択
自然環境調査法		2			2	選択
地域社会論		2			2	選択
社会調査法		2			2	選択
民法 II		2			2	選択
企業研究演習 I		4			4	選択
企業研究演習 II		4			4	選択
ビジネスゲーム実践 II		2			2	選択
環境政策 II		2			2	選択
計量政治学		2			2	選択
国際法 II		2			2	選択
防災情報学		2			2	選択
アジア法入門		2			2	選択
知的財産法 I		2			2	選択
人間存在と環境		2			2	選択
質的調査法		2			2	選択
環境分析論		2			2	選択
環境経済統計学			2		2	選択
環境法			2		2	選択
地方自治論			2		2	選択
経営組織論			2		2	選択
国際貿易論			2		2	選択
資源エネルギー政策論			2		2	選択
大気環境学			2		2	選択
知的財産法 II			2		2	選択
国際取引法			2		2	選択
社会デザイン実践			2		2	選択
環境マネジメント実践			2		2	選択
経済政策論			2		2	選択
国際政治学			2		2	選択
環境経済学実践			2		2	選択
地域デザイン論			2		2	選択
環境人類学			2		2	選択
国際環境協力論			2		2	選択

	人的資源管理論			2		2	選択
--	---------	--	--	---	--	---	----

(注) * 基幹科目より6単位以上修得すること

別表3 学則39条第1項に係る教職課程に関する科目及び単位数

1. 工学部／電子情報工学科・生命環境化学科・知能機械工学科・電気工学科 (高等学校工業)

- (1) 教育の基礎的理解に関する科目等については、次より23単位を修得するものとする。
- 教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2
 教育の方法とICT活用 2 特別支援教育論 2 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 2
 生徒・進路指導論 2 教育相談の基礎 2 教職実践演習(中・高) 2
 教育実習Ⅰ 3
- (2) 教科及び教科の指導法に関する科目については、次より36単位を修得するものとする。
 なお、教科に関する科目及び配当単位数は履修要項に定める。
- イ 教科に関する科目
 工業の関係科目
 職業指導
- ロ 教科の指導法に関する科目
 工業科教育法Ⅰ 2
 工業科教育法Ⅱ 2

2. 工学部／生命環境化学科(中学校理科、高等学校理科)

- (1) 教育の基礎的理解に関する科目等については、次より中学校教諭一種免許状は27単位、
 高等学校教諭一種免許状は23単位を修得するものとする。
- 教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2
 道徳教育論 2 教育の方法とICT活用 2 特別支援教育論 2
 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 2 生徒・進路指導論 2
 教育相談の基礎 2 教職実践演習(中・高) 2
 教育実習Ⅰ 3 又は教育実習Ⅱ 5
- (2) 教科及び教科の指導法に関する科目については、次より中学校教諭一種免許状は32単
 位、高等学校教諭一種免許状は36単位を修得するものとする。なお、教科に関する科目
 及び配当単位数は履修要項に定める。
- イ 教科に関する科目
- (イ) 中学校理科
 物理学
 物理学実験(コンピュータ活用を含む。)
 化学
 化学実験(コンピュータ活用を含む。)
 生物学
 生物学実験(コンピュータ活用を含む。)
 地学
 地学実験(コンピュータ活用を含む。)
- (ロ) 高等学校理科
 物理学

化学
生物学
地学

「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」

ロ 教科の指導法に関する科目

理科教育法Ⅰ 2
理科教育法Ⅱ 2
理科教育法Ⅲ 2
理科教育法Ⅳ 2

3. 情報工学部（中学校数学、高等学校数学）

(1) 教育の基礎的理解に関する科目等については、次より中学校教諭一種免許状は2.7単位、
高等学校教諭一種免許状は2.3単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2
道徳教育論 2 教育の方法とICT活用 2 特別支援教育論 2
特別活動・総合的な学習の時間の指導法 2 生徒・進路指導論 2
教育相談の基礎 2 教職実践演習（中・高）2
教育実習Ⅰ 3 又は教育実習Ⅱ 5

(2) 教科及び教科の指導法に関する科目については、次より中学校教諭一種免許状は3.2単
位、高等学校教諭一種免許状は3.6単位を修得するものとする。なお、教科に関する科目
及び配当単位数は履修要項に定める。

イ 教科に関する科目

代数学
幾何学
解析学
「確率論、統計学」
コンピュータ

ロ 教科の指導法に関する科目

数学科教育法Ⅰ 2
数学科教育法Ⅱ 2
数学科教育法Ⅲ 2
数学科教育法Ⅳ 2

4. 情報工学部（高等学校情報）

(1) 教育の基礎的理解に関する科目等については、次より2.3単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2
教育行政学 2 教育の方法とICT活用 2 特別支援教育論 2
特別活動・総合的な学習の時間の指導法 2 生徒・進路指導論 2
教育相談の基礎 2 教職実践演習（中・高）2 教育実習Ⅰ 3

(2) 教科及び教科の指導法に関する科目については、次より3.6単位を修得するものとする。
なお、教科に関する科目及び配当単位数は履修要項に定める。

イ 教科に関する科目

情報社会・情報倫理
コンピュータ・情報処理（実習を含む。）

情報システム（実習を含む。）
情報通信ネットワーク（実習を含む。）
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）
情報と職業

ロ 教科の指導法に関する科目

情報科教育法Ⅰ 2

情報科教育法Ⅱ 2

5. 社会環境学部（中学校社会、高等学校公民）

（1）教育の基礎的理解に関する科目等については、次より中学校教諭一種免許状は27単位、高等学校教諭一種免許状は23単位を修得するものとする。

教師論 2 教育原理 2 教育心理学 2 教育行政学 2

道徳教育論 2 教育の方法とICT活用 2 特別支援教育論 2

特別活動・総合的な学習の時間の指導法 2 生徒・進路指導論 2

教育相談の基礎 2 教職実践演習（中・高） 2

教育実習Ⅰ 3 又は教育実習Ⅱ 5

（2）教科及び教科の指導法に関する科目については、次より中学校教諭一種免許状は32単位、高等学校教諭免許状は36単位を修得するものとする。なお、教科に関する科目及び配当単位数は履修要項に定める。

イ 教科に関する科目

（イ）中学校社会

日本史・外国史

地理学（地誌を含む。）

「法律学、政治学」

「社会学、経済学」

「哲学、倫理学、宗教学」

（ロ）高等学校公民

「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」

「社会学、経済学（国際経済を含む。）」

「哲学、倫理学、宗教学、心理学」

ロ 教科の指導法に関する科目

社会科教育法Ⅰ 2

社会科教育法Ⅱ 2

社会科・公民科教育法Ⅰ 2

社会科・公民科教育法Ⅱ 2

別表 4

学則第 47 条に係る検定料、入学金および授業料等（単位：円）

1 - 1 検定料

検定料	共通テスト利用 選抜検定料	共通テスト併用型 選抜検定料
30,000	15,000	5,000

1 - 2 検定料併願割引

一般選抜【前期】を2日間とも受験する場合の検定料	一般選抜【前期】を3日間とも受験する場合の検定料
40,000	60,000

一般選抜【前期】を1日と共通テスト利用選抜（前期A）もしくは（前期B）を受験する検定料	一般選抜【前期】を2日間と共通テスト利用選抜（前期A）もしくは（前期B）を受験する検定料	一般選抜【前期】を3日間と共通テスト利用選抜（前期A）もしくは（前期B）を受験する検定料
35,000	50,000	70,000

共通テスト利用選抜（前期A）および（前期B）を受験する検定料	一般選抜【前期】を1日と共通テスト利用選抜（前期A）および（前期B）を受験する検定料	一般選抜【前期】を2日間と共通テスト利用選抜（前期A）および（前期B）を受験する検定料	一般選抜【前期】を3日間と共通テスト利用選抜（前期A）および（前期B）を受験する検定料
20,000	40,000	60,000	80,000

共通テスト利用選抜は、6学科/コース併願までは定額。7学科/コース目の併願から1学科/コース追加併願ごとに5,000円の検定料とする。併願割引は、同時出願の場合にのみ適用する。

2

	入学金	授業料	施設 設備費	実験 実習費	図書費	学生 厚生費
工学部・ 情報工学部	200,000	980,000	270,000	90,000	10,000	20,000
社会環境学部	200,000	764,000	170,000	—	10,000	20,000

ただし、学則第 47 条別表 4 - 2 の規定に拘らず、令和 5 年度以前の入学生については次のとおりとする。

	入学金	授業料	施設 設備費	実験 実習費	図書費	学生 厚生費
工学部・ 情報工学部	200,000	895,000	270,000	90,000	10,000	20,000
社会環境学部	200,000	705,000	170,000	—	10,000	20,000

ただし、学則第 47 条別表 4 - 2 の規定に拘らず、令和元年度以前の入学生については次のとおりとする。

	入学金	授業料	施設 設備費	実験 実習費	図書費	学生 厚生費
工学部・ 情報工学部	200,000	830,000	270,000	88,000	10,000	19,000
社会環境学部	200,000	670,000	170,000	—	10,000	19,000